

# 大阪大学適塾記念センターとは

2011年、大阪大学創立80周年を機に適塾記念センターが設立されました。適塾運営・大阪学・オランダ学の三部門を擁し、適塾建物および歴史資料の維持管理、近世以降の大阪の学問・文化や日蘭関係史の研究を行うほか、阪大の源流の一つである適塾を顕彰するため、見学会・展覧会・講演会等の様々な社会教育事業を展開しています。

何ぞや？



## 【令和七年度のイベント】

### ◎適塾特別展示「シリーズ生誕200年記念」その肆

大村益次郎・伊藤慎蔵・箕作秋坪（於適塾・5/27〜6/8）

大村益次郎は近代的兵制の確立を推進した兵学者、伊藤慎蔵は緒方洪庵の子息も教えを請った蘭学者、箕作秋坪は洪庵の『扶氏経験遺訓』刊行に尽力しました。三者三様の活躍ですが、教育者という共通点がありました。本展では、師友等との交流とともに、彼らの教育事業を紹介しました。



### ◎洪庵忌―適塾のタベ―

（於適塾・6/2）

関谷毅（産研）「知をひらき、まちと世界をつなぐ…緒方洪庵の志を継ぐ未来型インフラとセンシング技術」



※オンライン配信  
<https://www.youtube.com/watch?v=1CS2dOsbQ4>

### ◎適塾講座「近世の大阪における商家・商取引・金融」

（於中之島センター）

高木久史（天経大）「日本最初の紙幣、大坂にあらわる」  
（10/10）

高槻泰郎（神大）「江戸時代大坂の富―大名と商家の関係に着目して―」  
（10/21）

鈴木敦子（経）「三木佐助の回顧談から振りがえる近世日本の東西交易」  
（10/29）



## 見

- 一 適塾関係資料画像データベース  
<https://www.archive.tekijuku.osaka-u.ac.jp>
- 一 公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/TekijukuCommemorationCenter/>
- 一 図録『新版 緒方洪庵と適塾』  
定価 本体900円+税 購入は適塾窓口にて
- 一 適塾建物3Dモデル  
[https://sketchfab.com/Tekijuku\\_UOsaka/models](https://sketchfab.com/Tekijuku_UOsaka/models)
- 一 学生スタッフ Instagram  
[https://www.instagram.com/tekijuku\\_and\\_koan/](https://www.instagram.com/tekijuku_and_koan/)

# 適塾記念会 入会のススメ

適塾記念会は緒方洪庵・適塾およびその関係者の業績を顕彰し、大阪の学問・文化の伝統を発信することを目的に、1952年に創設されました。また適塾建物や適塾関係資料等の文化財保護活動にも取り組んでいます。適塾記念会に入会し、これらの活動にご支援・ご協力をお願いします。



会費	普通会員	年間1口	2,000円
	賛助会員	年間1口	10,000円

いずれも複数口での申し込み可。  
申込「大阪大学知の広場」

要ユーザ登録。（左記URL・QRコード）  
<https://open.univ.osaka-u.ac.jp/tekijuku/>



## 会員特典

- 特典① 適塾の参観料がいつでも無料に！
- 特典② 適塾見学会（年2回、前ページ参照）の無料参加が可能に！
- 特典③ 会誌『適塾』（年刊）を無料でお届け（ご希望のバックナンバーも）！ 投稿資格もあり！
- 特典④ 『大阪大学適塾記念センター所蔵 適塾関係資料目録』を希望者に無償頒布！
- 特典⑤ 適塾で販売する図録『新版 緒方洪庵と適塾』・絵葉書が1割引きに！
- 特典⑥ イベントの案内を随時お届け！

※詳細については大阪大学適塾記念センターHPをご覧ください。

# 適塾かわら版

# 巻十



「適塾かわら版」は大阪大学適塾記念センターのニューズレターです。



大阪大学適塾記念センター ニューズレター「適塾かわら版」巻十  
編集・発行：大阪大学適塾記念センター デザイン：cocotier  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館内 電話 06-6850-5016  
<https://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp> 2026年6月10日発行



大阪大学「ワニ博士」適塾の視

# 適塾人物かみ

## 其ノ十 武田 斐三郎(成章)

蘭学者 諸術調所教授役 陸軍幼年学校校長  
 生没 文政10年(明治13年)1827(80)  
 出身 伊予国喜多郡大洲中村(愛媛県大洲市中村)  
 業績 『北役紀行』(1854)、箱館五稜郭設計

大洲藩士の次男として生まれ、私塾・古学堂や藩校・明倫堂で学んだ。弘化5年(1848)に適塾に入門、その後は江戸で伊東玄朴・佐久間象山・箕作阮甫に蘭学を学んだ。

嘉永6年(1853)から幕府に出仕、安政元年(1854)から蝦夷地に赴任し、ペリー(米)やプチャーチン(露)の通訳を務めた。また古武井溶鋳炉の建設、国産初のストンプ製造、弁天岬灯台や洋式城郭・箱館五稜郭の設計・築造を行った。箱館奉行から教育の一切を委ねられた諸術調所では、山尾庸三・前島密等、明治政府で活躍する人材を教えた。安政6年には門生を率い、日本初の洋式船「箱館丸」で日本一周の航海実習を行った。

元治元年(1864)、江戸に帰り開成所(今の東京大学)教授となり、兵学を教えた。慶応3年(1867)には砲兵頭として、ナポレオン三世から將軍慶喜に贈られた大砲の国産化に成功した。明治4年(1871)、兵部省出仕を命じられ、陸軍士官学校教授、陸軍兵学校教授、陸軍幼年学校校長を歴任し、同8年に閑職となった。築城・航海・実理学・分析術と多方面で才を発揮し、「東洋のダ・ヴィンチ」と称された。

「學術の成不成に準じ位等を分ち候わば、自然励みにも相成るべし」



函館市立中央図書館蔵

(諸術調所学寮御取開に付奉申上候書付)1856

# 適塾見どころ

## 其ノ十 書齋



### 三刀流！緒方洪庵

幾多の俊英を育てた洪庵は、教育者の他に医者・蘭学研究者としての顔を持っています。洪庵の一日は、昼は往診に行き、夜中1時頃までここで医学書の翻訳に従事しました。適塾での教育は自学自習が基本で、時たま上級生に向けて講義を行う程度でした。

### 日本近代医学の偉業、爆誕！

『扶氏経験遺訓』全30巻は、洪庵が20年がかりで翻訳・出版した蘭学界待望の大作でした。原書はフーフェラント(独)が50年にわたる経験を大成した内科書で、様々な病気の症状と対処法がまとめられています。洪庵はその内容を紹介するとともに、現在も使用される人体の器官や病気の名称を新たに創出しています。

### 背中で教える教育者！

書齋の北側の丸窓は、二階の塾生大部屋から見下せる位置関係にあります。夜中まで翻訳を続ける灯火は、塾生の目に否が応でも映ります。「先生が遅くまで塾学に励んでいる。未熟な自分はずっと頑張らねば」と、塾生たちは思ったことでしょう。実際、夜中に腹痛で薬を探そうと、蔵然と机に向かう洪庵の姿を目にした本野盛亨(読売新聞創刊)は、痛みに耐えながら勉強を続けました。跡見玄山は自邸の書齋に、同じような丸窓を仕つらえました。

## 適塾参観案内

- 【最寄り駅】京阪淀屋橋駅・北浜駅、大阪メトロ淀屋橋駅下車 徒歩5分
- 【開館時間】午前10時～午後4時
- 【休館日】月曜日(国民の祝日は開館) 国民の祝日の翌日(土・日・祝は開館) 年末年始(12月28日～1月4日)
- 【参観料】一般 400円 高校・大学生等 200円 中学生以下 無料 ※適塾記念会会員および阪大生は無料！
- 住所：大阪市中央区北浜3丁目3-8 電話：06-6231-1970

荷物を預けて快適に見学できます。



大阪大学未来基金「適塾記念事業」より1口1万円以上をご寄付ください。後日、「一口適塾生」のご案内をいたします。https://www.miraikin.osaka-u.ac.jp/project/tekijuku

# 令和七年の日本適塾見どころ

## 夏季見学会 「適塾とその周辺をたずねる」

### 1 高松藩大坂蔵屋敷址・大坂紙砂糖製造所址

蔵屋敷は各藩が年貢米や特産品の売却するために中之島やその周辺に設置した。高松藩は「讃岐三日」と呼ばれる塩・綿・砂糖を名産とした。明治期には実業家・真島襄一郎によって大坂紙砂糖製造所が建てられた。大阪市北区中之島5

### 2 薩摩藩蔵屋敷址

薩摩藩は土佐堀の上屋敷の他、江戸堀に中屋敷、立売堀(いちぢり)に下屋敷と三つの蔵屋敷を有していた。琉球国王が將軍に派遣する感謝使・慶賀使はこへ立ち寄った。現在は三井倉庫となっている。大阪市西区土佐堀2

### 3 大村益次郎寓居址

弘化3年(1846)、当時は村田良庵を名乗っていた大村益次郎が適塾に入門した。嘉永2年(1849)から倉敷屋作衛門の座敷に住みながら適塾に通い、塾頭となって翌年に退塾した。大阪市西区土佐堀1

### 4 長州藩蔵屋敷址

長州藩の蔵屋敷。文久3年(1863)、会津・薩摩の公武合体派が尊攘派を京都から追放する八月十八日の政変が生じ、長州藩兵と三条実美(あまの)等は長州へ下った際七卿落ち(ご)に滞在した。大阪市西区土佐堀1

### 5 大同生命大阪本社ビル

元は鴻池と比肩される大坂の豪商・加島屋久右衛門の邸宅。分家に嫁いだ広岡浅子は潤野炭鉱と真宗生命(現・大同生命)の経営により明治維新後の危機から再建した。ヴォーリス設計の大同生命本社ビルを復元再生したメモリアルホールがある。大阪市西区江戸堀1



参加者の声  
とても良かった。米のことについても勉強になった。



## 秋季見学会 「天保山と大阪港」

### 1 天保山

天保2年(1831)、天保の大波(おきま)で没(おぼ)れた土砂により安治川口に築かれた目印山に由来する、標高4.5mの日本で一番目に低い山。嘉永7年(1854)、ロシア船「アリアナ」が天保山沖に停泊。大坂町奉行所の要請で適塾から伊藤慎蔵・栗原唯が通訳を務めた。大阪市港区築港3

### 2 港住吉神社

天保13年(1842)、天保山に航海神の住吉大社を勧請(かむか)した。二度の移転を経て大正6年(1917)に現在地に移った。日露戦争記念で奉納された軍艦の砲弾と軍馬の銅像は金属供出され、台座だけが残る。また社殿は空襲で焼失。昭和36年(1961)に復旧した。大阪市港区築港1

### 3 住支棧橋

明治30年(1897)、大阪港築港工事が起工した。しかし財政難でたびたび難航、大正5年(1916)に中止となった。同15年、住友友純(ともいと)は築港南岸地区に棧橋を建設し、大阪市に寄付した。これにより大阪港で本格的な在来船荷役が可能になった。大阪市港区築港1

### 4 商船三井築港ビル・天満屋ビル

商船三井築港ビルは昭和8年(1933)、天満屋ビルは同10年に竣工。二つの隣合うレトロな近代建築は、築港に甚大な被害をもたらした空襲や室戸台風・ジェーン台風をくり抜けた。ジェーン台風後のかさ上げ工事、いずれも2階が入口となった。大阪市港区海岸通1

### 5 中央突堤

明治36年(1903)に完成した築港大規模は東洋一の規模を誇ったが、背後に空間なく般利用は伸びず、軍事利用された。昭和9年(1934)の室戸台風で切断され、10年後に中央突堤として復興したが、戦中戦後は空襲や頻発した地震・台風の被害を受けた。大阪市港区海岸通1



参加者の声  
天保山は海遊館しか知らなかったが、開港の歴史を学べて楽しかった。